

[報告]

**学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点（JHPCN）
第8回シンポジウム報告**

江川隆輔

スーパーコンピューティング研究部



平成28年7月14日、15日の両日、学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点第8回シンポジウムが、例年通り東京品川The Grand Hallにおいて開催されました。

学際大規模情報基盤共同利用・共同研究は、東北大学、北海道大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学にそれぞれ附置するスーパーコンピュータを持つ8つの共同利用の施設を構成拠点とする「学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点」が、超大規模数値計算系応用分野、超大規模データ処理系応用分野、超大容量ネットワーク技術分野、およびこれらの技術分野を統合した大規模情報システム関連研究分野、更には分野間に亘る複合分野の研究者らと取り組む学際的な共同利用・共同研究です。今年度から、これらの一般共同研究枠に加えて、国際共同研究、企業共同研究、萌芽的研究枠が設置され、今後将来に向けて、我が国の学術・研究基盤の更なる高度化と恒常的な発展が大いに期待されております。これまで平成22年度から27年度の6年間において233件の課題が学際大規模情報基盤共同利用・共同研究として採択されており、そのうち当センターとの共同研究課題は、38件ありました。平成28年度は国際共同研究3件を含む39採択課題のうち、6件が当センターとの共同研究（うち1件が国際共同研究）として採択されております。

本シンポジウムでは、昨年度採択された36件に及ぶ研究課題の成果発表、および今年度採択された39件の研究課題のポスター発表を通して積極的な議論が交わされたばかりでなく、拠点および拠点を構成する各センターにおけるそれぞれの共同研究への取り組みを確認することができました。本報告では、今年度の東北大学との共同研究として採択された課題の成果は、JHPCNウェブページ（<http://jhpcn-kyoten.itc.u-tokyo.ac.jp/ja/adoption.php>）にて公開されております。ご興味のある方には是非、先進的、且つ多様な共同研究成果をご覧いただければと存じます。

来年度も引き続き、学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点の研究公募行う予定でおります。ご興味のあるかたは奮ってご応募ください。当センターの計算機科学を専門とする教員との共同研究の可能性を検討したい、手続き方法が分からない等、本応募に関して不明な点などあります場合は、お気軽に当センターまでお問い合わせください。

【JHPCNに関する問い合わせ窓口】

joint_research@cc.tohoku.ac.jp